

令和7年度 施策評価シート

施策の大綱	3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上	評価担当者
基本施策	(2) 地域に根ざした商工業の活性化	産業環境部長 佐藤 康二
目指す姿	市内事業者が、地域に根ざし活発な経営を行っています。	
関連する分野別計画		

SDGs

基本施策に関連する SDGsのゴール	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
SDGs推進の考察	エネルギー等の価格高騰による影響を受ける事業者に対し、エネルギー価格高騰対策事業の実施により、産業と技術革新の基盤となる中小企業や個人事業者の負担軽減に寄与した。また、資金繰り支援制度や専門家による経営相談を通じて、事業者の経営安定化を支援することができた。さらに、商工会議所との連携により、市内での創業を促したことで、地域に根ざした商工業の活性化を図り、持続可能なまちづくりに寄与した。	

■関連する主な事業

(単位:千円)

[illegible]

太字：主要事業

■成果指標

指標			現状値		実績値				目標値
					R4	R5	R6	R7	
1	都市拠点における新規出店数	件	—	—	2	2	4	6	8
2	商工業団体等による商工業活性化に向けた取組件数	件	—	—	1	2	4	5	4
3	地域ブランドの認定件数	品目	17	R3	34	38	38	41	57
4	創業件数	件	—	—	11	21	33	40	12
5									
6									
7									

■市民アンケート調査

項目		現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察 (令和6年度施策評価内容を参考記載)
1	日常の買い物がしやすい	重要度 1.39	1.48	1.53	日常の買い物のしやすさ、外食や宴会等を行う場所の充実について、ともに重要度は年々高まっているが、満足度は低いままである。今後も継続して市内での創業を促進するとともに、事業者の経営支援を行い、地域産業の活性化を図る取り組みが必要である。
		満足度 0.22	0.27	0.23	
2	外食や宴会等を行う場所が充実している	重要度 0.58	0.65	0.73	
		満足度 ▲ 1.01	△ 1.06	▲ 1.04	
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			

■施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① にぎわいのある商業地域の形成	空き店舗等活用支援事業や創業セミナーの開催により、市内での創業を促進することができた。今後も亀山駅周辺と連動した取り組み等により、にぎわいの創出を図る。
② 多様な主体による一体的な商工業活性化の促進	商工関係団体や労働関係団体の様々な活動に対して、財政支援を行った。今後も、商工会議所と連携し、商工業団体の組織力や団体間の一層の連携強化を図る。
③ 事業者の経営安定化と事業活動の活性化	商工会議所と連携して資金繰り支援制度等により経営支援を行った。亀山ブランドはSNSを活用したPRにより知名度向上を図り、事業者同士の交流を通じて販売意欲を高めた。
④ 新たなビジネスの創出	時代に沿った創業セミナーの開催や利子補給など、効果的な支援を図ることができた。今後も創業者の経営支援や負担軽減を図り、にぎわいのある商業地域を形成していく。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

創業セミナーや空き店舗等活用支援事業、小規模事業者等経営支援事業による個別の経営相談、創業資金利子補給制度や保証料補給制度など、様々な創業支援の実施により、市内で7事業者の創業につながった。また、空き店舗等活用支援事業については、2件の補助を行い、にぎわいのある商業地域の形成や新たなビジネスの創出に向けて、順調に進んだ。多様な主体による一体的な商工業活性化の促進については、商工関係団体への財政的支援を行うと同時に、亀山商工会議所と連携した支援により商工業団体の組織力や団体間の一層の連携強化を図った。事業者の経営安定化と事業活動の活性化については、資金繰り支援制度や専門家派遣による経営相談を通じて事業者を支援するとともに、エネルギー等の物価高騰に対応するため、国の臨時交付金を活用してエネルギー価格高騰対策事業を実施し、事業者の負担軽減を図った。

さらに、亀山ブランドについては、大阪・関西万博や関係自治体でのPR販売のほか、SNSを活用して市内外へ88回情報発信することで、本市の知名度向上と産業振興に寄与した。

全体としては、基本施策に設定する成果指標において、都市拠点における新規出店数や地域ブランドの認定件数は目標に達しなかったが、創業者のニーズに沿った制度改正やSNSを活用した亀山ブランドの情報発信など、創意工夫により産業振興に取り組んだ。加えて、創業件数や商工業団体等による商工業活性化に向けた取組件数が目標に達しており、基本施策が目指す姿に向けて順調に進めることができたと考え。

A

順調に進んだ

今後の展開方針

創業セミナーについては毎年希望者も多く、創業にもつながっている。また、空き店舗等活用支援事業については、新たに2件の補助を行ったが、今後も継続して事業の検証を行い、引き続き亀山商工会議所と連携して、創業に係る支援体制や相談体制の情報を発信し、創業意欲の向上につなげていく。さらに、事業者の経営安定を図るためには、継続した資金繰り支援制度や専門家派遣が必要であり、制度の活用を促すとともに、これまでの支援に加え、事業承継など時代に即した取り組みについての支援も検討する。一方、亀山ブランドについては、市内での亀山ブランド認知度向上を図るため、図書館や関ドライブインなど身近な所でPR出展するほか、市内小学校への亀山ブランド認定事業者による出前講座を実施する。